

研究機関：広島大学

研究課題名	Post-colonoscopy colorectal cancer (PCCRC)の臨床的・分子生物学的特徴に関する単施設後ろ向き研究
研究責任者名	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2018年10月5日～2022年12月31日
対象者	2008年1月から2016年12月の間に、広島大学病院内視鏡診療科および消化器外科で診断された大腸癌のうち、診断日から遡って6ヶ月～60ヶ月以内に大腸内視鏡検査歴のあった患者さん。
意義・目的	<p>大腸内視鏡検査は、大腸癌罹患率および大腸癌死亡率を低下させる検査法として世界的に認められています。一方で、大腸内視鏡検査が検診の場に普及するに従い、検診と検診の間に発見される癌が認識されるようになり、大腸内視鏡検査後に発見された癌としてPost-colonoscopy colorectal cancer (PCCRC)という用語が使用されるようになりました。</p> <p>PCCRCはこれまでの研究により全大腸癌の5%前後の割合で存在すると報告されています。大腸内視鏡検査の今後の更なる普及に際して、PCCRCを減らすことは重要な課題であり、そのためにはPCCRCの特徴を解明することが重要です。本研究では、当院で診断されたPCCRCについて臨床的および分子病理学的に解析を行い、その特徴を明らかにします。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を用いて、年齢や性別、既往歴、病変の部位・肉眼型・大きさ、病期と治療法などを調査します。また、切除された腫瘍の病理組織を用いて、免疫染色や遺伝子解析を行い、分子病理学的特徴を解析します。</p> <p>なお、個人を特定可能な情報は解析には使いません。</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 教授 田中信治
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-2551-5939</p> <p>広島大学病院 消化器・代謝内科 診療准教授 岡 志郎</p>